

1 目的

看護基礎教育について理解を深め、実習指導に必要な知識と技術を習得し、看護基礎教育において、効果的な実習指導ができる人材を育成する。

2 目標

- (1) 自己の看護実践を振り返り看護観を深める。
- (2) 実習指導の基礎となる教育的素地を養う。
- (3) 看護基礎教育における臨地実習の位置づけを理解する。
- (4) 実習指導の基本と実習指導者の役割を理解する。
- (5) 実習指導の展開について理解を深め、その実際を学ぶ。

3 主催

千葉県

4 実施期間

前期：令和6年7月4日(木)～7月25日(木)

後期：令和6年9月3日(火)～9月27日(金)

※ 開講日は、原則、月曜日～土曜日の範囲で5日/週です。

※ 前期の時間割は受講者決定時にお知らせします。

5 授業時間

9：30～16：30 ただし、7月4日(木)は9：00～16：30を予定しています。

6 実施方法

開講初日7月4日(木)は対面により開講式及び授業を行います。(実施場所は次項を参照)

開講初日以外の前期日程はWeb会議システム(zoom)を利用した遠隔(オンライン)授業を、後期日程は対面授業を予定しています。

【遠隔授業に参加するにあたって】

- ※ PCの基本的な操作(電源の入切、マウスの操作、ファイルの保存、アプリのダウンロードなど)ができる方が受講してください。
- ※ 原則として、各自で、パソコン、ウェブカメラ、マイク、スピーカー、インターネット環境を準備してください。通信料は自己負担です。ご了承ください。
- ※ スマホやタブレットでの受講はできません。必ずPCを準備してください。
- ※ zoom接続テスト(6月14日(金)15：00～16：30)への参加が必須です。それまでに、受講場所でのインターネット環境を整えておいてください。

7 実施場所

東京医療保健大学 船橋キャンパス

(千葉県船橋市海神町西 1-1042-2) 西船橋駅下車 徒歩 12 分 海神駅下車 徒歩 7 分

(自動車・バイクでの通学はできません。公共交通機関をご利用ください)

8 受講資格

(1) 実務経験 4 年以上の保健師・助産師・看護師

(2) 保健師・助産師・看護師または准看護師学校養成所の実習施設で実習指導に携わる者

(3) 将来、(2)となる予定にある者

9 定員

50 名

10 講習内容

科目のねらい及び内容と授業形態 (P4 参照)

11 応募書類

受講申込書 研修責任者用(様式第 1 号)及び、実習指導案作成演習における希望分野

受講申込書 個人用(様式第 2 号)

12 応募期間

令和 6 年 4 月 25 日(木)～ 令和 6 年 5 月 20 日(月)

※ 応募期間最終日(5 月 20 日)必着分を有効とします。

13 申込方法

受講申込書は研修責任者にて取り纏めの上、簡易書留、もしくはレターパックで郵送。

※ 郵送先 〒273-8710 千葉県船橋市海神町西 1-1042-2

東京医療保健大学 千葉事務部 実習指導者講習会担当宛

14 受講決定

申込書類の審査により決定し、結果を 6 月上旬に申込施設長あて郵送にて通知予定。

15 修了証

講習会修了者には千葉県から修了証を交付する。

16 経費

(1) 受講生1名につき、受講料 50,000 円を徴収する。

受講料受領に当たっては、領収書の発行のみとし、請求書については発行しない。

(2) 講習会受講のために要する食費、図書費、教材費、通信費等は受講者負担とする。

17 問合せ

東京医療保健大学 千葉事務部 実習指導者講習会担当 TEL 047-495-7751

科目のねらい及び内容と授業形態

区分	内容	科目	目標・内容	時間数	授業形態
基礎分野	教育の基盤	教育原理	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	15	遠隔
		教育方法	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授—学習過程の理解 等	15	遠隔
		教育心理	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等	15	遠隔
		教育評価	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等	15	遠隔
専門分野	看護論	看護論	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護感を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対応方法 等	15	遠隔
		看護教育課程論	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 ・教育課程の基礎知識 等	15	対面
		実習指導方法論（評価を含む）	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ。 ・実習指導の方法 ・実習評価の意義と方法 等	30	対面
		実習指導方法演習	実習指導の展開の実際を学ぶ。 ・実習指導案の作成及び評価（課程別、学年別、専門領域別等） ・実習の評価 等	60	対面
合計				180	

※内容や授業形態が一部変更となる可能性があります。